



ひがしなるせ

議会だより

発行
No. 144
平成19年4月20日

栗駒にも春間近

順調に進む春山除雪(4月11日 仁郷国有林地内)

こんなことが 決まりました

三月十二日から十五日までの会期で定例会が開かれ、平成十九年度の各会計予算や平成十八年度の各会計補正予算並びに各種条例の制定及び改正などの議案が提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案は全会一致で原案可決された。



(第2分団)

3月定例会

村に副村長を置かない条例を制定

当分の間、村に副村長を置かないこととする条例を制定した。

十八年六月に助役を置かない条例を制定したが、十九年四月の地方自治法の改正により、助役制度に代え、副村長制度となるため新たに制定した。

二課を統合し「産業建設課」に

四月から「産業振興課」と「建設課」を統合して、「産業建設課」とする課室設置条例の一部を改正。平成十九年度からは「総務課・民生課・産業建設課・ダム対策室・出納室」の三課二室体制で、より効率的な行政運営を目指すこととした。

村有施設の指定管理者を指定

管理を行わせる公の施設の名称	指定管理者となる団体
東成瀬村ふる里館	東成瀬村商工会
平良交流センター	平良部落

【指定の期間】平成十九年四月一日～二十四年三月三十一日

自治功勞表彰

議会議員として永年にわたり在職し、地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、4名の議員が秋田県町村議会議長会会長から表彰を受けた。



富田 義行 議長



佐々木謙吉 副議長



伊勢谷政雄 議員



佐藤 辰雄 議員



村消防団駆付訓練

成瀬ダム用地の財産処分

成瀬ダム建設事業用地として次のとおり売り払うこととした。

◆土地

・東成瀬村椿川字トクラ二番地九 (千七百六十㎡)

・東成瀬村椿川字トクラ五十三番地一 (四千八㎡)

・東成瀬村椿川字トクラ七十六番地 (八千十六㎡)

◆物件 (二千五百十九本)

◆処分予定価格……千四百八十八万五千六十五円

◆処分の方法……随意契約

◆契約の相手方……湯沢市関口字上寺沢六十四番地二

国土交通省東北地方整備局
湯沢河川国道事務所長 貫名功二

平成19年度当初予算 まちづくり交付金事業など 33億1千2百万円の一般会計予算を可決

案 件
東成瀬村保育の実施に関する条例の一部を改正する条例について
東成瀬村長寿祝金条例の一部を改正する条例について
東成瀬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
東成瀬村農村公園設置条例の一部を改正する条例について
東成瀬村農地及び農業用施設災害復旧事業分担金徴収条例について
平成18年度村営土地改良事業〔中山間地域総合整備事業農業用水路〕分担金の変更について(馬場地区及び川通地区)
東成瀬村道路線の認定について
東成瀬村道路線の変更について
指定管理者の指定について (2ページに関連記事を掲載)
財産の処分について (3ページに関連記事を掲載)
秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について
湯沢雄勝広域市町村圏組合規約の変更について

平成19年度の主要事業

◎大森山麓周辺整備事業	6,425万円
◎環境整備地域連携事業	62万円
◎村道新設改良事業	1,076万円
◎生活道路整備事業	164万円
◎防火水槽設置工事	1,000万円
◎小型動力ポンプ積載車購入	635万円
◎小中連携教育	33万円
◎学校造林管理費	135万円
◎生涯学習推進事業	204万円
◎特定生活排水処理事業	6,446万円
◎橋りょう維持費	5,932万円
◎子育て支援ネットワーク事業	103万円



親子でリズム遊び(なるせつ子広場)

皆さんからの請願・陳情

3月定例会に提出された請願・陳情は次の案件を採択と決定した。

1. 日豪EPA交渉に関する請願
こまち農業協同組合 代表理事組合長 岩井川 光雄 外1名
2. 安心・安全な公務・公共サービス拡充を求める陳情
秋田県公務公共業務共闘会議 議長 佐藤 憲雄
3. 公共サービスの安易な民間解放に反対し、国民生活の「安心・安全」の確立を求める陳情
秋田県国家公務員労働組合共闘会議 議長 藤原 孝寿
4. 地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度の改正を求める陳情
秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 外1名
5. 労働法制の改善を求める陳情
秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 外1名
6. 格差是正に向けた社会保障制度の充実に関する要請
日本労働組合総連合会秋田県連合会湯沢地区連絡会 議長 斎藤 斉

〔1～5の請願・陳情については、国など各関係機関に意見書を送付した〕

主な予算・条例など

平成19年度の主要事業

- ◎役場庁舎大規模改修工事・・・・・・・・・・8,770万円
- ◎公有林整備事業・・・・・・・・・・3,380万円
- ◎緑化推進コミュニティ助成金・・・・・・・・270万円
- ◎まちづくり交付金事業・・・・・・・・5億4,386万円
- ◎奨学資金貸付金・・・・・・・・3,008万円
- ◎地域活性化資金貸付金・・・・・・・・1億円
- ◎物産振興資金貸付金・・・・・・・・300万円
- ◎さわやかなせ夢プラン支援事業補助金・・・・30万円
- ◎生活バス路線等維持費補助金・・・・・・・・400万円
- ◎高校生バス通学費補助金・・・・・・・・100万円
- ◎地域生きがいセンター管理費助成金・・・・200万円



下田コミュニティセンターで部落総会

- ◎村単福祉医療給付費・・・・・・・・172万円
- ◎不妊治療費助成金・・・・・・・・20万円
- ◎児童生徒入院費等支援金・・・・・・・・60万円
- ◎児童生徒歯の健康づくり事業・・・・・・・・120万円
- ◎脳ドック補助金・・・・・・・・31万円
- ◎1日人間ドック補助金・・・・・・・・31万円
- ◎合併処理浄化槽設置事業改修費補助金・・・・2,000万円
- ◎目指せ元気な担い手農業夢プラン応援事業費・233万円
- ◎園芸重点作物生産拡大支援事業・・・・・・・・18万円
- ◎自然乾燥米生産支援事業・・・・・・・・100万円
- ◎地場農産物販売対策補助金・・・・・・・・20万円
- ◎担い手組織育成事業費補助金・・・・・・・・35万円
- ◎あきたの水田農業チャレンジ事業補助金・・・・77万円
- ◎中山間地域総合整備事業・・・・・・・・1億488万円
- ◎水源の森整備保存事業・・・・・・・・55万円
- ◎高能率生産団地路網整備事業補助金・・・・620万円
- ◎使える森を作るための路網整備事業負担金・・・・1,605万円
- ◎森林整備地域活動支援交付金・・・・・・・・1,700万円

案	件
平成19年度一般会計予算	(総額33億1,200万円)
平成19年度国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	(総額2億9,491万1千円)
平成19年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)予算	(総額5,652万円)
平成19年度老人保健特別会計予算	(総額3億6,465万2千円)
平成19年度介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	(総額2億5,688万4千円)
平成19年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	(総額2億9,992万円)
平成19年度簡易水道事業特別会計予算	(総額6,345万円)
平成19年度下水道事業特別会計予算	(総額1億1,871万6千円)
平成18年度一般会計補正予算(第4号)	(3,708万9千円 減額)
平成18年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)	(1,757万3千円 減額)
平成18年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)	(500万円 減額)
平成18年度老人保健特別会計補正予算(第3号)	(4,630万1千円 減額)
平成18年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)	(708万9千円 減額)
平成18年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第3号)	(338万3千円 減額)
平成18年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	(660万4千円 減額)
平成18年度下水道事業特別会計予算(第2号)	(3,180万2千円 減額)
東成瀬村課室設置条例の一部を改正する条例について	(2ページに関連記事を掲載)
東成瀬村に副村長を置かない条例について	(2ページに関連記事を掲載)
東成瀬村特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について	
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部を改正する条例について	

一般質問

伊勢谷 政 雄 議員

19年度予算の重点事業は何か

村長／計画に基づいた事業推進を図る



問 地方経済は依然として厳しい中で、村の予算編成は効率的で実質的な効果の上がる予算が望まれる。

デイサービスセンターと地域交流センター機能を併せ持つ総合センター建設、少子化・子育て対策事業等新規事業を予算化しているが、特に力を入れて取り組む事業で予算に反映した事業は何か伺う。

村長 経常経費の削減、人件費の抑制に努め、事業計画に基づいた事業内容の見直しを図りつつ、住民サービスにつながる投資的経費の充実、生活関連、健康、子育て関係に重点的予算配分をしている。

少子化対策と

健康づくりの連携を

問 十九年度予算には、少子化対策・子育て対策・児童生徒の歯の健康対策等の事業が予算化されている。

これらの事業は「健康ひがしなるせ21」とも関連がある。東成瀬こそ安心して子育てができる、なおかつ、健康で生活ができると思えるような地域づくりに努めるべきではないか。事業をより効果的であるものとするには、金額の多寡

ではなく、村民に納得を頂いて協力をして頂けるかどうかで事業効果に大きな違いが生ずるものと思う。

政策を個々に捉えるのではなく、横の連携を取りながら事業を検証して進めることが大きな効果に結びつくと思つ。村長の考えを伺う。

村長 少子化対策事業等と「健康ひがしなるせ21」との連携の必要性については、行政としてより密接に連携して進める観点から、歯科検診・フッ素洗口事業等についても学校・保育所等とも連携しながら、健康・子育てを含めて一貫した教育方針をもとに進めている。当然、検証しながらより充実したものにしてまいりたいと考えている。

地産地消に

積極的サポートを

問 現在各地で地産地消が進められて、地元の新鮮な野菜等の直売所が設けられ消費者に愛されている。村での直売所も十七年度から始められて、次第に販売量も伸びているようだ。村の場合、山菜などの豊富な山の資源等も含めて売上げ向上の要素は十分にあり

と思う。行政のサポートできる部分も多くあるのではないか伺う。

村長 村内では、有人・無人含めて直売所があるが、村では特に朝市連絡協議会主体の直売所があり、販売状況や販売体系の習得も考えたものだが、他にも直売所を計画している地域もあるようだ。要請があれば支援したいと考えているし、関係機関との連絡調整をしながら、補助制度も含めて考えたい。

(文責は質問議員)



冬季の野菜栽培を視察（羽後町）

他の質問項目

- ・ 保育所の今後の運営について
- ・ 村営施設の今後の管理について



佐々木 昭次郎 議員

営農組織設立の取り組みは

村長／今後さらに情報提供に努める

問 大規模農業でなければ成り立たないと思うが集落営農についての村の取り組みを聞く。また、これについて研修等で訪れた先進地域と当村と比較した場合、条件等で大きく異なる点はどのようなところか。組織化にはずみをつけるために小作料の見直しなどの考えは必要ないものか伺う。

村長 昨年から雄勝地域振興局農林部と村と一緒に、経営所得安定対策等や各地域の実例の情報提供などについて十八回にも及び説明会を行っている。品目横断対策へ加入要件が備わった受託組織設立に向けて準備しているところもある。

田畑会で研修視察した岩手県宮守村等の先進地と当村との一番違うところは大規模な圃場整備が実施されていることと、大型機械の共同利用組織の存在であると考えている。また、小作料については今後も当事者間での協議によるものと考えている。

農業委員会の動向は

問 組織づくりについての農業委員会の活動について伺う。平成十二年頃までは、集落営

農制度もなく積極的な取り組みもなかったと思うが、当時とは委員も入れ替わっている。将来を見据えた取り組みが必要と考えるがこれまでの活動状況を聞く。

村長 新たな農業政策に向けて推進項目の優先順位として担い手の確保を第一にあげ、農地の集約促進やアンケート調査による集積規模の情報収集に努めるなど、目的に沿った活動を展開している状況のようだ。

大字田子内簡水の

統合計画を

問 貯水槽の位置や容量、送水管の埋設場所そして事業費に対する補助金の額や費用負担、大字田子内七地区の負担割合などはどのようなものか。また水源の集落への対策についても伺う。

村長 簡易水道の統合計画には広域化が必須条件となっており、大字田子内地区の統合を考えた場合滝ノ沢集落の水源が有効と考えており、交渉しているがまだ了解が得られず、具体的に数字を入れた計画に入れる状況ではない。引き続き集落へお願いに努めて

いる段階である。

駅伝やマラソンの復活を

問 近年駅伝やマラソン大会が行われていない。初回駅伝大会の走者としてさみしく思うし、村民からも同様の声を聞く。復活の考えは。

村長 私も大変残念に感じている。青年会の会員数の減によるものなのか、駅伝は五十年、仙人マラソンも十九回で中断している。社会体育の面でも走る勇姿を是非見たいものだと思う。

(文責は質問議員)



集落営農に関する研修会 (岩井川)

他の質問項目

- ・ 体験学習について

一般質問

佐々木 健 夫 議員

保育所の統合、民営化の考えは

村長／指定管理者制度、民間委託などで検討



問 村の計画では、保育所の統合は、平成二十一年度までにしたいとしている。羽後町では、町で立ち上げた法人に二つの保育所を委託している。委託の狙いは、民営化すること、国、県からの運営費負担が入ること、〇才児保育、延長保育などニーズに合った弾力的な保育が出来ること、ということのようだ。

法人化前の職員は殆どそのまま採用されているようだし、我が村でも平成二十一年度といわず統合を含めて早めに民営化できないか伺う。

村長 保育所の運営については、教育委員会が「就学前の保育・教育を考える会」を通して就学前の保育に関する審議を重ね、年度内に答申をいただくことになっている。幼少連携を含めて、保育サービスの向上や職員の雇用、経営の継続性などを慎重に考えて、法人を立ち上げて委託するか、所定の民間委託か指定管理者制度を適用するか検討していきたい。

新年度予算の基本方針と

目玉事業は

問 新年度予算は、首長の基

本方針に沿って、各課で編成していくと思う。昨年五月の村長のスローガンが行政の基本方針、目標になっていくと思うし、平成十九年度は村長十年目であり、村民もスローガンに期待しているところが大きいと思うので、村長の期する基本方針、目玉事業を伺う。

村長 新年度予算の基本方針は、経常経費の削減や人件費の抑制をばかり、生活関連事業、健康、子育てなどに重点配分する予算編成に当たった。目玉事業としては、岩井川地区のまちづくり交付金事業、或いは蛭川地区の農村公園としての中山間地域総合整備事業、特定生活排水処理事業などが重点事業と考えている。

ダム用地の地元民使用権廃止に

議決が必要でないか

問 大柳地区に、ダム補償費が数千万円入ったと聞く。地方自治法では明治二十二年以前から慣行で草刈り、柴切り、薪切りなどをしている住民はその土地に対して、旧慣による使用権があるとしている。この使用権を廃止する場合は、議会の議決を経なければなら

ないとあるので、この廃止に議会の議決が必要でなかったかを伺う。

村長 この土地は、民法上で規定している入会地が存在しているかと判断して、民法並びに判例に従って対応している。事業用地の売り払いには入会権を放棄していただかなければならないので、地域と協議して権利者全員の承諾をいただきやっています。代金については、立木売り払い金額の全額と土地代金の三十%を関係集落へ支払っている。

(文責は質問議員)



就学前の保育・教育を考える会

他の質問項目

・県の「子育て教育」及び「森林環境」の新税について

行政 報告

少子化対策・子育て支援を強化



村長



教育長

本村児童生徒大活躍

▼「小学校と中学校の連携教育の在り方を検討する審議会」及び「就学前の保育・教育を考える会」は3月で審議を終了した。このあと、それぞれの会から報告書をいただき今後の本村における教育の充実発展のために役立てていきたい。

▼昨年12月の豪雨により中学校「総合グラウンド」の山側法面が大きく崩れ、100mのトラックのゴール付近に落ちた。雪消えを待ち調査検討して復旧工事をする予定。

▼1月に矢島スキー場で開催された秋田県中学校スキー大会に、本村から男女合わせて9名が参加。男子アルペン総合で準優勝、個人でも3位入賞の大活躍をした。長野県での全国中学校スキー大会には2名、青森県での東北大会には4名参加し秋田県代表として頑張ってくれた。また、税金に関する作文や美術展、アンサンブルコンテストなど、文化・学習・スポーツ面で様々な賞を受賞する活躍をしている。

▼平成19年度の児童生徒数の見込みは小学校は新入生が26名、全校児童数は149名。中学校は新入生が20名、全校生徒数は60名の見込みだ。

▼平成19年度「一般会計予算」は、三十三億一千二百万円。首長選挙を控えての骨格予算編成だった昨年度の当初予算との比較では大幅増となるが、六月補正後の予算と比較すると九%弱の増となる。普通交付税は二千万円の減。引き続き大きな財源不足が生じており、財政調整基金から三億二千万円を繰り入れる厳しい財政状況である。

▼重点事業は岩井川地区再生「まちづくり交付金事業」五億四千四百万円、「中山間地域総合整備事業」一億五百万円、「特定生活排水処理事業」六千四百五十万円、庁舎耐震化等大規模改修事業八千八百円等だ。

▼少子化対策、子育て支援を強化する視点から、「不妊治療に対する助成」、「中学生までの医療費の一部助成」、「中学生までの歯科診療費の無料化」等の制度創設や「高校生バス通学費補助率拡大」を予算化している。

▼平成19年度成瀬ダム事業予算は約二十三億六千万円。主な内容は国道三四二号付替道路に係るトンネル工事・橋梁下部工事・下流工事用道路（肴沢工区）工事等の継続事業と一次供用区間となる上流迂回路工事が予定されているようだ。

88歳のお祝い



平成19年度 予算審査

一般会計及び特別会計総額 47億6千万円余りを可決

予算特別委員会は「全予算案を可決」と報告
本会議では全予算案を満場一致で原案可決

平成十九年度の一般会計と特別会計の計八件の歳入歳出予算の審査は、議長を除く十三人の議員で構成する予算特別委員会（委員長・佐々木謙吉）を設置し、三月十四日に行われた。そのうち一般会計予算に関する主な質疑についてスポットをあてた。

担い手組織育成事業とは

問 新規事業としてこれに係る補助金が計上されているが、これの具体的内容を聞く。

答 岩井川農業生産組合が農作業受託も含めて担い手組織づくりに取り組むにあたり、必要な施設・機械を国庫補助事業により整備するがその一部を村で支援するものだ。

道路維持費の用地購入は

問 用地購入費が予算措置されているが、この内訳を聞く。

答 道路維持補修用の資材置場の土地購入費である。場所は建設機械車庫横で約一千三百㎡を購入し、今後これをストックヤードとして利用したい。

農地・水・環境保全向上対策支援事業負担金の内訳は

問 実施する集落とその負担金の内訳を聞く。

答 現段階では滝ノ沢集落に約百七十三万円、下田集落に五十二万円、岩井川集落に約二百二十五万円の支援交付が見込まれている。

公有林管理費委託料と

原材料費の内容は

問 整備委託する場所と面積及び植栽する苗木の種類は何か伺う。

答 施業面積は総枠で約百四十ha。岩井川沼又及び椿川土寄地内の間伐事業と、椿川沼ノ上キツフシ地内に杉十ha、ブナ一haを植栽する計画だ。

財産管理費の備品購入は

問 これの備品購入費が二百三十万円となっているが、この内容は。

答 保健指導車が古くなったため更新をする。なお、現在総務課管理の公用車の一台を保健指導車として使用し、新しく納入された車を総務課管理とする予定だ。

緑化推進「コミュニティ

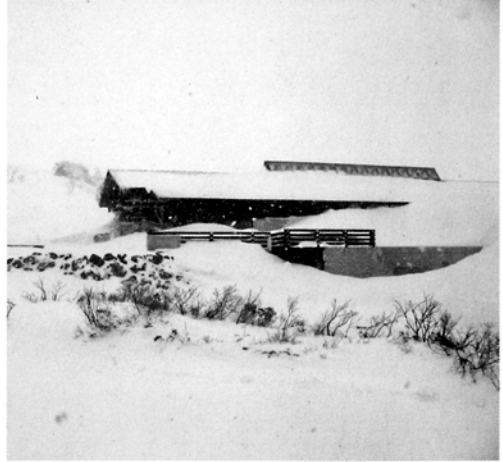
助成事業とは

問 事業費が二百万円だが、その内容はどんなものか。

答 大橋場の忠魂碑周辺を桜などの植樹やグラウンドカバープランツの植栽等で整備するものである。



十九年度予算審査



例年より少ない積雪（3月16日の栗駒山荘）

発電機リース料の倍増は

問 栗駒山荘で使用する発電機のリース料が七百七十万円余りと倍増しているが、その理由は何か。また発電機は何台あるか。

答 オープン当初は三台購入した。そのうち消音装置付の二台を昼夜交互で使用していたが耐用年数が経過。一台は使用不能となりリースで対応していたが、もう一台も故障し修理費が何百万円という高額になるため新たにリースをするものである。

庁舎大規模改修の内容は

問 耐震の関係で改修すると聞かすが、具体的に工事の箇所と内容を伺う。

答 大きく分けて耐震補強工事、外壁の塗装工事、既存屋根・軒先・非常階段の改修工事を予定している。耐震補強では一階と二階部分には隙間を入れるスリット工事を実施。三階天井裏に鉄骨補強。落雪の危険防止のため屋根の改修やバルコニーも含めた非常階段の改修工事を行う。

**スクールバス
運行委託料増の要因は**

問 十八年度と比較して百万円増額になっているが、この要因は何か。

答 生徒数の減少により、通学用定期券購入費に充当する遠距離通学生徒通学費助成金が減少する。バス事業者の収入減を補填する意味合いで運行委託料が増額となるものだ。

オフワークの活用を

問 オフワークについては個別の電話等から直接連絡が可能と聞く。この機能を利用して地域内の連絡の手段として活用を検討したかどうか。

答 機能的には可能と考えるので、地域での有効活用ができるように、なるべく早めの実現に向け努力したい。

敬老祝金の支給見込みは

問 これの各年齢別到達予定者の内訳を聞く。

答 八十八歳は十八人。百歳はゼロ。七十七歳は五十人。七十七歳については今年度から祝金ではなく別の形を考えている。

今年の中山間事業は

問 中山間地域総合整備事業で今年実施する予定の場所はどこか。

答 農業用排水路は大石・手倉西堰・入道堰・矢櫃堰につきそれぞれ測量或いは工事を予定。農道については入道一号线・同二号线・十八年度から継続のウルイ線の改良工事を予定。蛭川の農村公園についての測量も行う予定である。

橋りょう工事の内容は

問 今年行う予定の工事の具体的な内容を聞く。

答 適正な時期に補修をして橋の延命を図るもので、今年はそのぞき橋について伸縮装置・地覆・高欄の補修と桁の塗装及び落橋防止設備の改良を行う計画だ。



19年度はのぞき橋を改修



芽吹きのをきを待つ

雲に抱かれた栗駒山 4月11日

四季の ONE SHOT

編集室

- ▼雪の少ない暖冬に別れを告げ、いつもより早い春、土手の福寿草、庭先のクロッカスが咲いている。
- ▼小学校の入学式。澄んだ瞳の二十五名が、元氣よく返事している。期待と不安の中、早く学校に慣れて、遊びに勉強に頑張れ。みんなが応援している。
- ▼『それぞれの世界で、それなりの成功を収めた人々は、才能は勿論、その底に、必ずいい意味での「鈍感力」を秘めているものです。鈍感、それはまさしく本来の才能を大きく育み、花咲かせる、最大の力です。』—鈍感力—より
- ▼県議会議員の選挙も終わり、いよいよ村議会議員の選挙。議員の仕事は何か。何人必要なのか。今回の選挙から、定数が十人となる。
- ▼反省の日々の四年間が、過ぎ去ろうとしている。次の号からは新しい編集委員が、鈍感力と総合力で新しい紙面をお届けします。

(委員長・高橋 健)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会
 〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
 TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3260
 E-mail:gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所

私もひとこと



滝ノ沢

古谷 涼輔さん

(東成瀬中学校3年)

「沖縄のあたたかさ」

僕たち2年生は2月27日から4日間、沖縄へ修学旅行に行ってきました。僕たちは3日目の首里城で、東成瀬村のパンフレットを渡すという計画を立てました。パンフレットは、技術の時間にコンピュータを使って作りました。東成瀬村の良さを一人でも多くの人々に知ってもらうために、一生懸命作りました。

はじめは緊張してしまい、なかなか渡すことができませんでした。しかし、一人に渡すことができたからは、どんどん積極的に話しかけて渡すことができました。

沖縄の人や観光客の人々はとても優しく、たくさん会話をすることができました。このような触れ合いを通して、沖縄は気温だけでなく人の心もあたたかいということを感じました。

僕たちが作ったパンフレットを見た人達が、一人でも多く、この東成瀬村に足を運んでくれればうれしいと思います。